

# 公益信託世田谷まちづくりファンド

## 第29回助成事業 審査講評

### まちづくり活動部門

#### 【2回目応募グループ】

##### < 3-1 劇団・せたがや創作紙芝居 >

- ・昨年度はコロナ禍の影響で活動にはご苦労があったことと思いますが、こうした状況を利用して、紙芝居ワークショップやサポーター制度を新設するなど、団体内のメンバーシップの強化に取り組んだところはとてもよかったのではないかと思います。審査会でもお伝えしましたが、こうした機会に、活動者の方々にとっての活動の意味と、地域や社会に対する活動の意味をそれぞれ検討していただき、言語化できるとよいのではないかと思います。「3年間で活動の自立に向けて」さらなる発展を楽しみにしております。

##### < 3-2 記憶をつなぎ人をつなぐ世田谷区庁舎をのぞむ会 >

- ・区庁舎立替事業に対する「反対運動」に類するもの、と見ざるを得ない部分が少なからずあり、審査委員間の協議でも、助成対象として相応しくないという意見がやはりそれなりにありました。私自身は助成金の支給OKの判断をしましたが、それは、単なる反対運動の枠を超えた動きを期待したためです。個人的な意見となりますが、家庭内ですべきではないことはまちづくりの場でもするべきでないと思っています。反対！の声をぶつける対象となる人々、事業を進める側にいる人々もまた家族の一員なのだとしたら、どんなアプローチが考えられるのか？一緒に考えてみたいと思い、助成金支給OKの判断をいたしました。

##### < 3-3 I B A S H O >

- ・やりたいこと、できること、活動の方向性が定まってきたのではないかと感じました。多くの協力者や協力団体もできて、今後はこの活動をどのようにして継続していくかが課題になってきていることと思います。コアメンバーの卒業後についても、検討されていきましたので、進みながら形ができてくるのではないかと思います。立ち上げメンバーがフォローアップしつつ、当事者の方々がどんどん新しいことにチャレンジできる活動の基盤ができるといいですね。